

COMIT HRの システム移行事例

COMIT HRだから実現できた、SAPからジョブカンへの移行！



COMIT HRのシステム移行事例

1. COMIT HRのシステム移行事例（導入背景、課題、移行プロセス、内容、方法、効果）	... 3 p ~ 8 p
2. SAPなどのERP統合システムを利用している企業の課題	 9 p
3. ERPからSaaSへ移行するメリット	 10 p
4. COMIT HRだから実現できるERPからSaaSへの移行	 11 p
5. システム導入の流れ	 12 p
6. パートナー企業の紹介	 13 p
7. 無料オンライン相談	 14 p
8. COMIT HRの実績	. 15 p ~ 16 p
9. 会社概要	 17 p

1. COMIT HRのシステム移行事例 / 導入背景

外資系自動車部品メーカー（従業員数1,000人）ではSAPからの移行を検討
ビジネス環境や市場の変化に伴いSAPの費用対効果が低くなり業務に支障が出始めている

導入背景

ビジネス環境や市場・組織の変化
→SAPを使い続けることが困難

- ◆ SAPは法改正の度に追加費用が発生する
→費用対効果が低い
- ◆ コストを削減したい
→委託先を変更する必要がある



外資系自動車部品メーカー（従業員数800人）

1. COMIT HRのシステム移行事例 / 課題

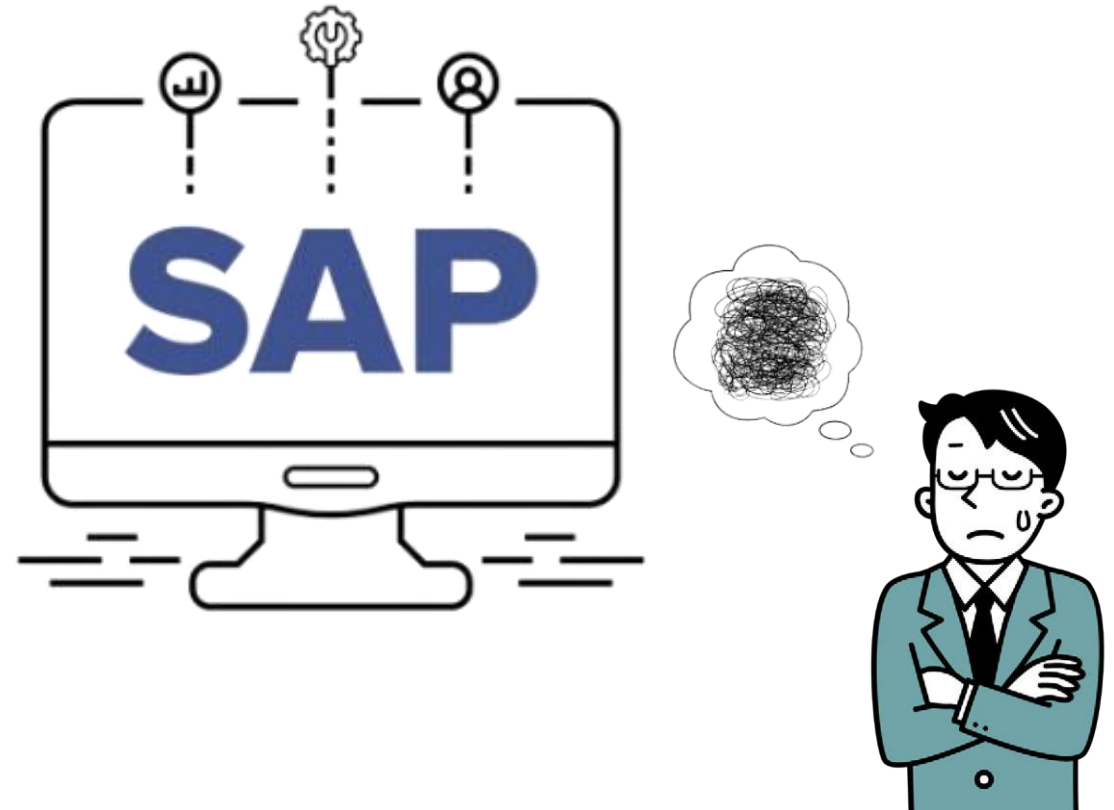
他のシステムへの移行を検討するも属人化や適切なシステムが見つからない**課題**が発生

自社で行き詰まりを感じていたタイミングでCOMIT HRへご相談いただきました

課 題

SAPの設定が複雑・属人化している
→他のシステムにリプレイスできない

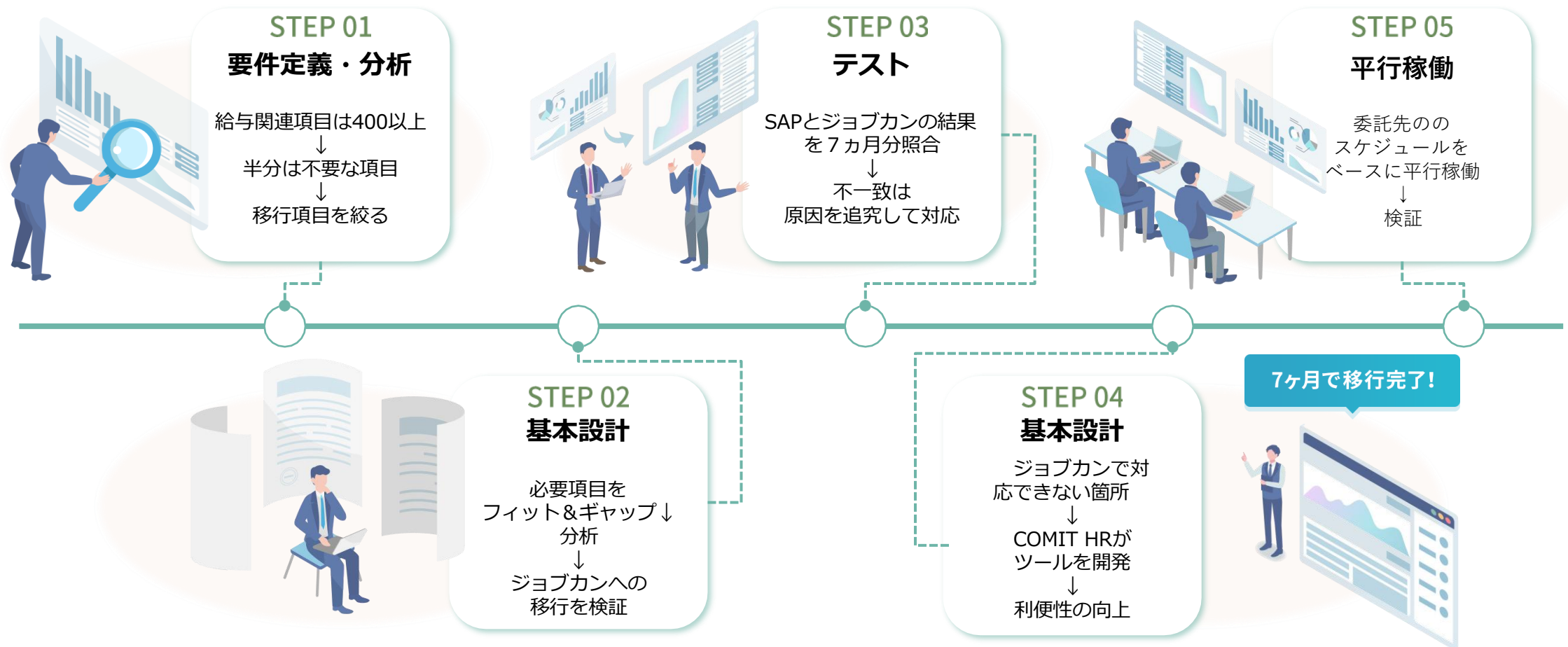
- ◆自社にフィットするシステムがわからない
- ◆委託先の勤怠システムが機能性・UIともに旧式
 - 運用に支障がある
- ◆勤怠管理は自社運用
 - 大きな負担になる



1. COMIT HRのシステム移行事例 / 移行プロセス

経験豊富なシステム導入のプロが要件定義から稼働までを担当！

COMIT HRでは経験豊富な担当者をご相談から分析・設計・稼働まで対応致します



1. COMIT HRのシステム移行事例 / 移行内容

要件定義や入念な**フィット&ギャップ分析**を経てSAPからジョブカンへの移行を実行
フルアウトソーシングにより人事・給与・ワークフロー・勤怠システムの一元化を実行します

移行内容

SAPからジョブカンへ移行

- ◆フルアウトソーシングにより
人事・給与・WF・勤怠システムを一元化
- ◆紙申請、源泉帳票の電子化
- ◆賞与計算の完全システム化



1. COMIT HRのシステム移行事例 / 移行方法

クライアントの組織規模、委託ポリシー、委託範囲に従ってサービス体制を構築
人事業務の専門家とBPOスタッフが協働する独自体制によりコストパフォーマンスの高い意向を実現

移行方法

現実の人事運用状況とSAP設定の
ギャップを分析・解明

- ◆必要な項目のみジョブカンへ移行
→移行できない項目はBPOを提案
- ◆照合テストで判明した不足する箇所
→COMIT HRがツールを追加開発
→利便性を向上



BPOと組み合わせで移行

1. COMIT HRのシステム移行事例 / 効果

SAPからジョブカンへの移行を約**7ヵ月**で完了！

依頼を受けてから新システムの移行まで約7ヵ月で完了し、業務効率化を実現

7ヶ月で移行完了！



成 果

短期間 & 低コストでSaaS移行を実現

◆人事業務のペーパーレス化を実現

◆臨時の3回以上賞与計算を実装（ジョブカン）

→煩雑な勤怠業務から解放

◆重厚なシステムから軽量なシステムに切り替え

→仕様変更にかかる時間が大幅短縮

◆ジョブカンの機能がアップデート時

→無償で機能提供！

2. SAPなどのERP統合システムを利用している企業の課題

SAPなどのERP統合システムを利用している企業は、様々な課題を抱えています

従来型のERPは、老朽化やアドオン開発を繰り返したために構造が複雑化しています。運用・保守のために社内のIT人材や資金が割かれており、時代に即した新しい業務プロセスに迅速に対応できない課題を抱えています。

人事専門性があるシステム
に乗り換えたい



従来型のERPは老朽化と構造の複雑化からデータを活用できない。新しい業務プロセスに迅速に対応できない。

システム管理が
属人化している



特定の担当者しか業務のやり方や進め方などを把握していない。ブラックボックス化してしまい社内にノウハウが共有されない。

システムをつなぐ
ツール開発の費用がかかる



既存システムを活用するためにデータを連携させることで、システムの改修費用が必要になり、運用の手間も増加する。

3. ERPからSaaSへ移行するメリット

組織が持つ潜在能力を引き出し、クラウドによる**生産性**を向上！

ERPからSaaSへに移行することにより、組織が持つ潜在能力を引き出し、新たなモデルによって生産性を向上できるなどさまざまなメリットを挙げることができます。

ERPからSaaSへ移行すべき5つのメリット

① 環境変化に柔軟に対応



SaaSは拡張性や柔軟性に優れており、将来の環境変化にも柔軟に対応できます。

② アップグレード



SaaSは、頻繁にアップデートされるため、常に最新の状態で活用できます。

③ 短期間での導入



SaaSは、既存のシステムに影響を及ぼすことなく短時間での導入が可能です。

④ ビジネス価値の向上



SaaSを導入で大きな業務効率化を実現し、ビジネス価値の向上が期待できます。

⑤ 圧倒的経済性



SaaS導入により保守・運用費を、従来のシステムよりもコストカットできます。

4. COMIT HRだから実現できるERPからSaaSへの移行

実績あるクラウド移行で、人事システムの**新時代**へ

COMIT HRでは、SAP、COMPANY、オービックなどの基幹システムからクラウドへの安全で効率的な移行をフルサポートします。貴社の独自のルール合わせ、最適なクラウドを提案いたします。

COMIT HRでシステム移行 & フルアウトソーシングした結果



短期間“かつ”低コストで
ERPからSaaSへの移行を実現！



人事業務の**ペーパーレス化**を促進



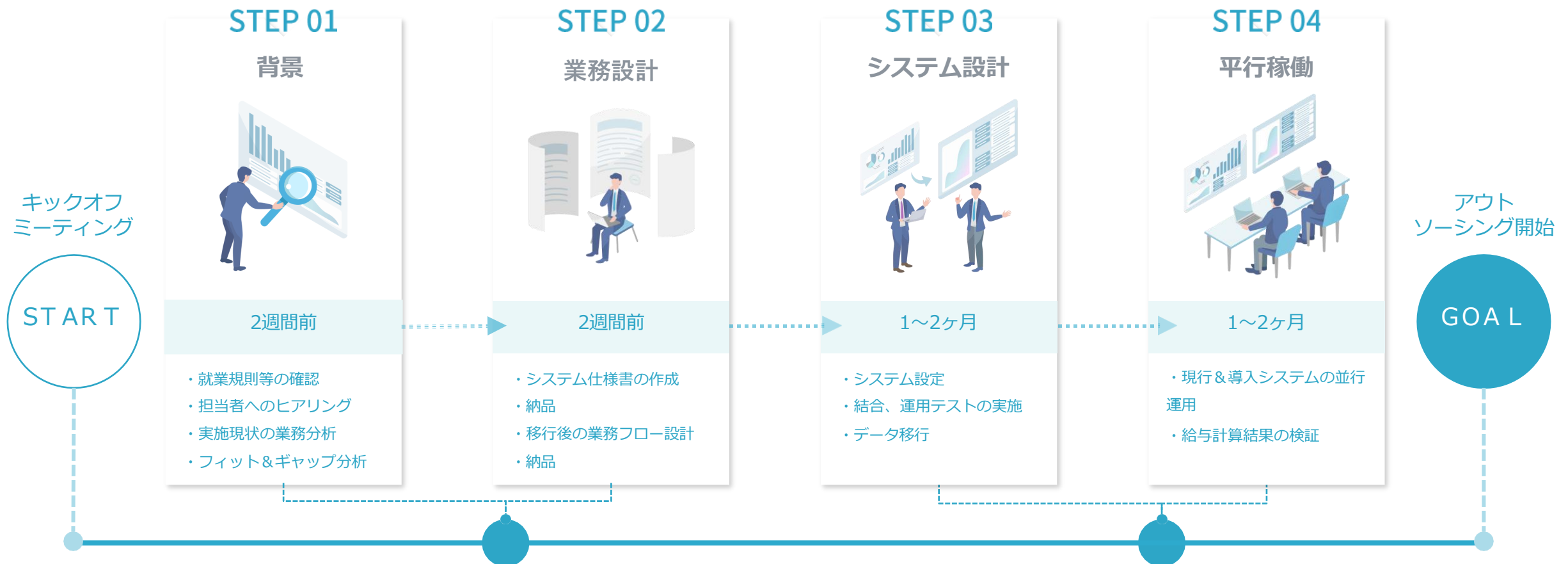
ジョブカンの標準機能内で
臨時の3回以上賞与計算を実装



COMIT HRのフルアウトソーシングによって、**煩雑な勤怠業務から解放**

5. システム導入の流れ

COMIT HRなら、ご契約から**最短3ヶ月**でアウトソーシングが可能です！



6. パートナー企業の紹介

弊社が提携する人事・給与SaaSシステムを通常より割安な単価でご提供！

👤 従業員数1,000人以上向け



大手企業特有の複雑な人事・給与業務に特化したSaaS

👤 従業員数1,000人未満向け



創業期から成熟期まであらゆるステージ・規模に対応するバックオフィス支援クラウドサービス

👤 従業員規模は問わず対応可能
(勤怠管理・労務管理としての利用の場合)



勤怠管理クラウド市場シェアNo.1



事業会社のバックオフィスをラクに強くするクラウドサービス



労務管理クラウド シェアNo.1
アラカルト型人事労務クラウドソフト



企業の人事データを一元管理するためのHRプラットフォーム



大手企業の複雑な就業管理にも対応できる勤怠中核型クラウドサービス

7. 無料オンライン相談

まずは気軽に手軽に オンラインでご相談ください



数々の企業様への導入を手掛けてきた
人事業務コンサルタントがご対応いたします！

<https://www.comit-hr.jp/consultation/>



相談内容の例

- 給与・社会保険等の定型業務に追われていて、**人事のコア業務に集中できない**
- 現在アウトソーシングを委託しているものの、自社に業務が残っており**工数削減につながっていない**。しかも**品質が低い**
- 年末調整や人事申請系はほぼ紙で対応しており手間がかかっている。**DXを推進し脱却したい**
- 人事担当者の退職/休職により、業務が対応できなくなった。**アウトソーシングで解決したい**
- 経営層や財務部門から**コストダウンを求められている**
- グループ会社が多い。**規定やシステムがバラバラ**・・・どう統合すべきか困っている

7. 無料オンライン相談

Step01

日時のご予約



Webミーティング可能な日時がカレンダー表示されます。カレンダーからご希望の日時を選択し、フォーム入力し、予約の確定まで進んでください。

Step02

ミーティングURLのご案内



ミーティングURLをお送りします。

Step03

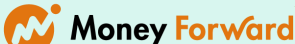
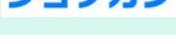
Webミーティングをスタート！



当日、ご指定のメールアドレスにお送りしたミーティングURLにアクセスいただくと、Webミーティングが始まります。

8. COMIT HRの実績

■ 最近の傾向としてグループ一括受託のケースが増えております。

ご利用企業様	社員数	システム導入	給与計算	勤怠管理	運用システム	
特別民間法人様	10,000名	○				人事・給与・勤怠一括導入
外資系医薬関連会社様	6,400名			○		グループ会社一括受託（2社）
製薬会社様	2,500名	○	○			グループ会社一括受託（3社）
眼鏡チェーン会社様	1,800名	○	○	○		グループ会社一括受託（9社）
精密機器メーカー様	1,500名	○	○	○		
コンサルティング会社様	1,300名		○			AI顔認証出退勤管理システム導入（顔認証端末25台）
生産機械メーカー様	1,100名	○	○	○		グループ会社一括受託（7社）
エネルギー事業会社様	1,100名	○	○			グループ会社一括受託（8社）
外資系自動車部品メーカー様	1,000名	○	○	○		SAPからのリプレイス
自転車チェーン会社様	1,000名	○	○			
リゾート事業会社様	900名	○	○	○		グループ会社一括受託（8社）
ガス機器メーカー様	700名	○	○			
IT企業様	500名	○	○	○		

9.会社概要

社名	株式会社InfoDeliver（インフォデリバ）
東京本社	東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー6階 TEL：03-5405-7996
札幌本社	北海道札幌市中央区南一条西4丁目5-1 大手町ビル9階 TEL：050-3310-5634
城東オフィス	東京都江東区亀戸2-25-14 京阪亀戸ビル4F
設立	1999年4月15日
資本金	4億9,150万円
代表者	代表取締役社長 山口英一郎

主要株主	■ 三菱UFJキャピタル株式会社 ■ 株式会社ニッセンホールディングス ■ 株式会社野村総合研究所 ■ 太陽生命保険株式会社
------	---

従業員数 （連結）	575人（2026年1月1日現在）
--------------	-------------------

